

ダブルネットワークの実現でより快適に、より

新名神高速道路の目的

新名神高速道路(近畿自動車道 名古屋神戸線)は、名古屋市を起点として神戸市に至る延長約174kmの高速道路です。

昭和四十年に全線開通した現在の名神高速は、東西を結ぶ大動脈として、国民生活産業経済活動に大きな貢献をしてきま

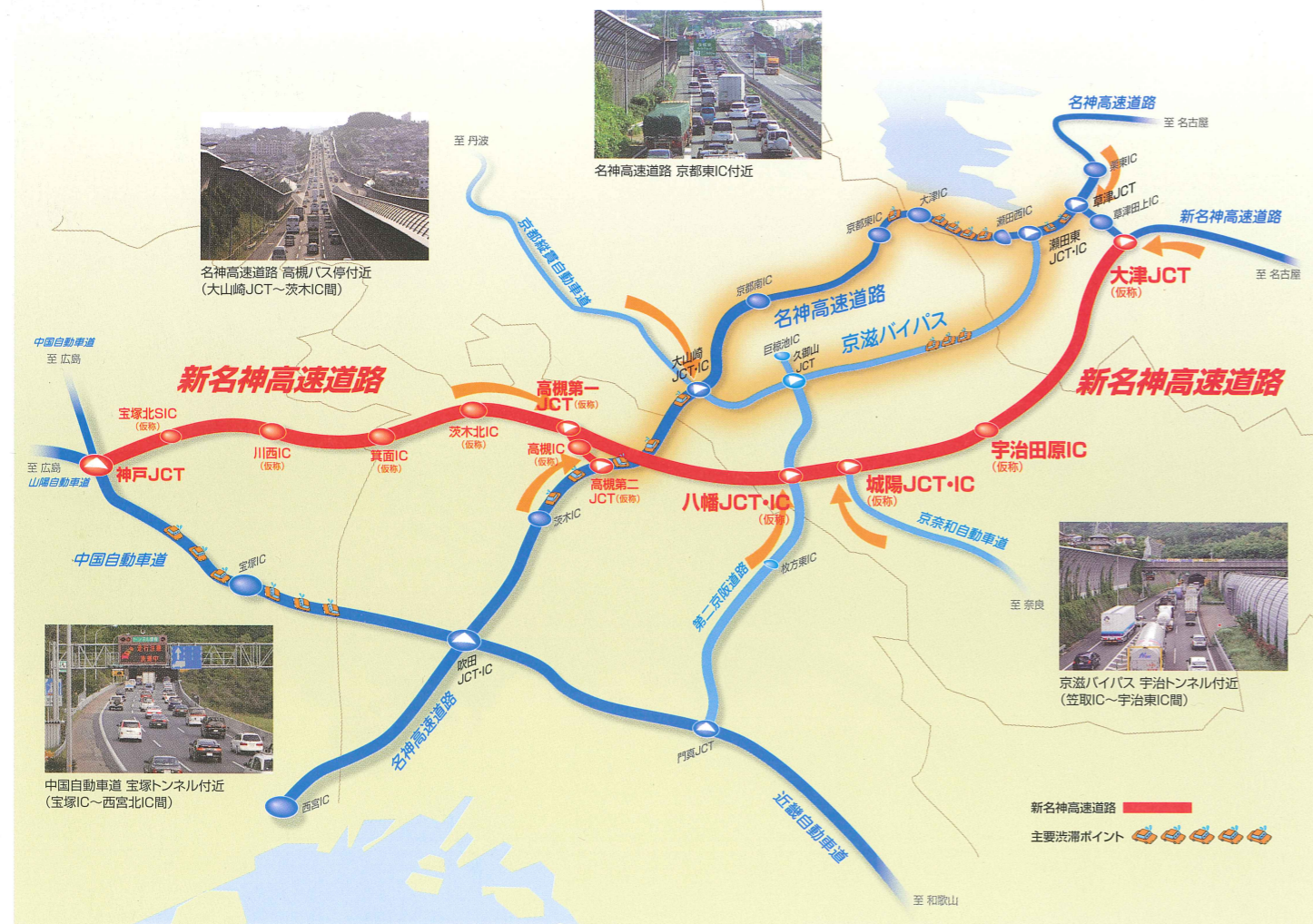
したが、現在は交通量の増加による交通混雑が頻発し、高速道路本来の機能が十分発揮できない状況になっています。

新名神高速は、名神高速等と交通機能を補完することにより、高速道路ネットワークに求められる(高速性)(定時性)(快適性)(安全性)などの機能を高めるとともに、沿道及び西日本の国民生活産業の更なる発展に寄与することを目指しています。



名神の抜本的サービス改善 ~関西の高速道路の現状~

関西の高速道路ネットワーク整備の進展により、京都・滋賀南部に交通が集中。これらを名神1本で負担しなければならない状況です。



確実に…新名神高速道路

時間短縮

二大都市圏を最短で結ぶことにより所要時間の短縮を実現し、交通の利便性向上や生活範囲の拡大など地域の活性化が期待されます。



リダンダンシー

日本の大動脈である名神高速道路~中国自動車道には代替ルートがなく、阪神・淡路大震災においては、高速道路ネットワークが一時的に機能停止になりました。新名神高速道路はこのような重大事故や地震発生時などの緊急時に代替道路機能を果たします。

